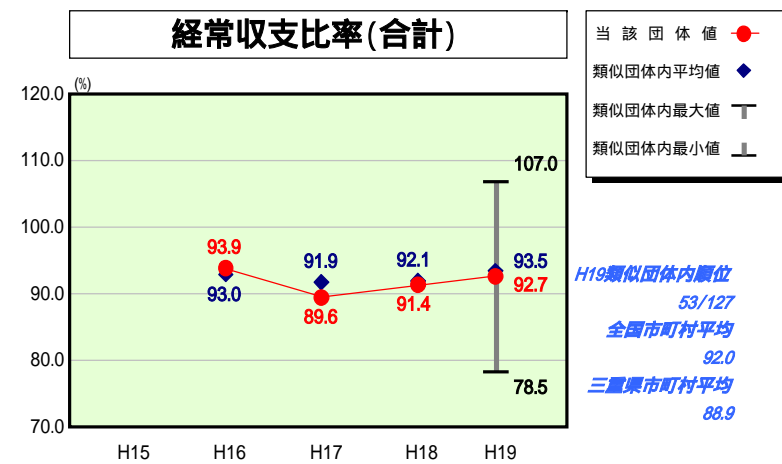
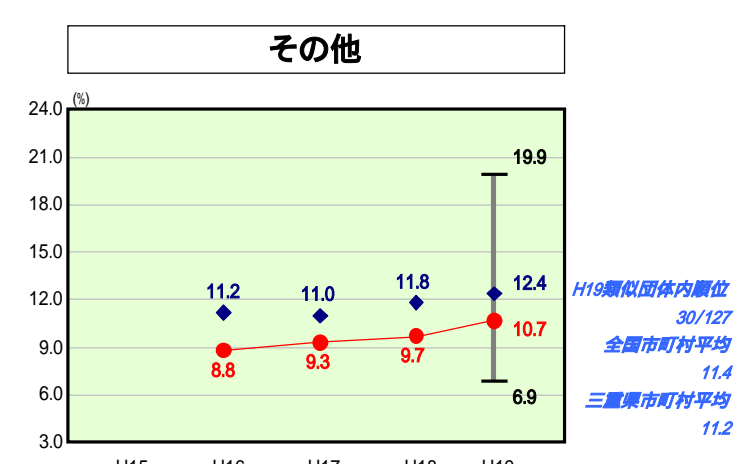
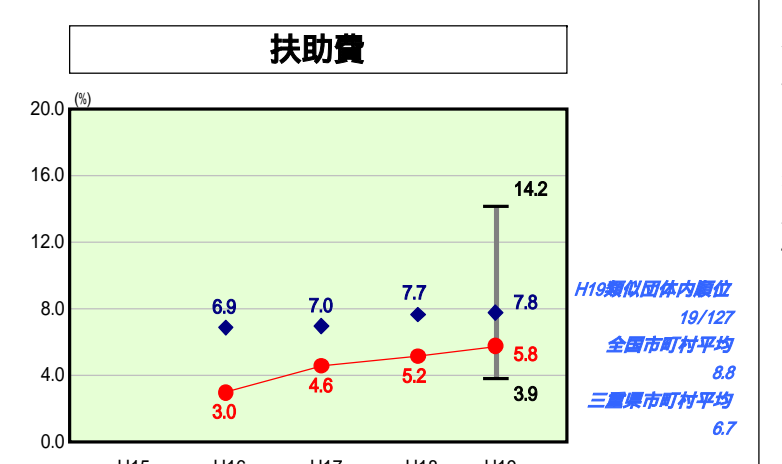
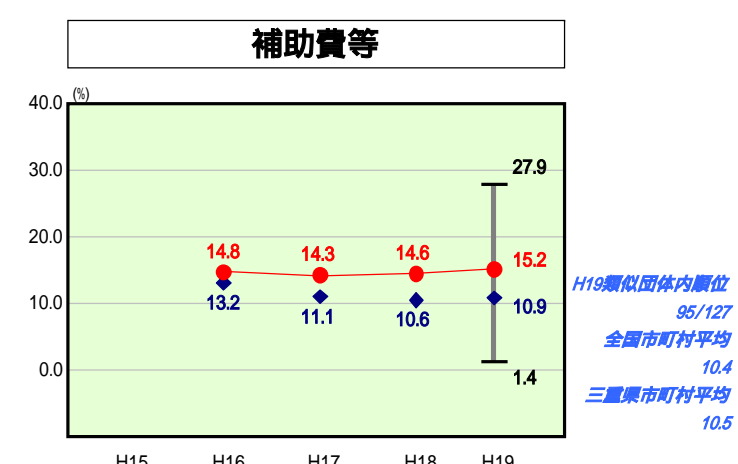
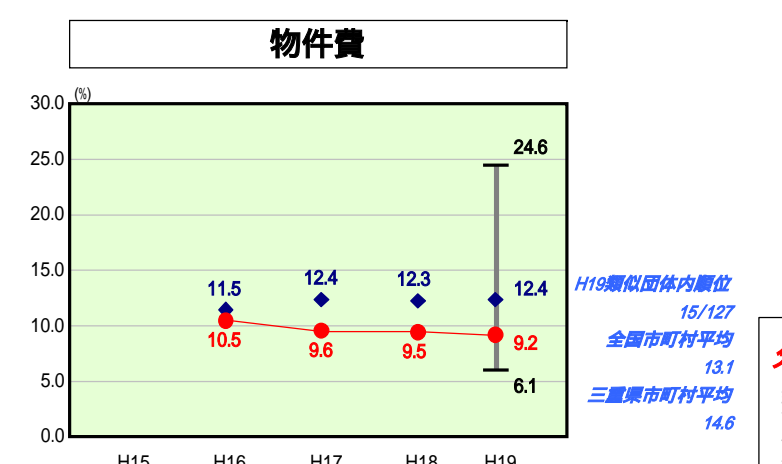
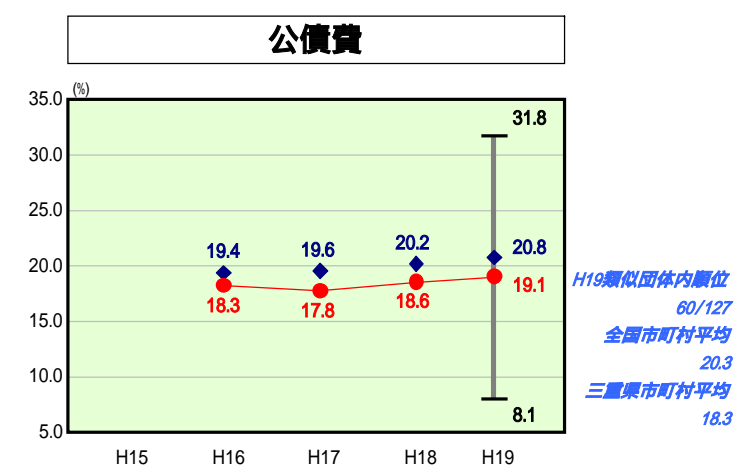
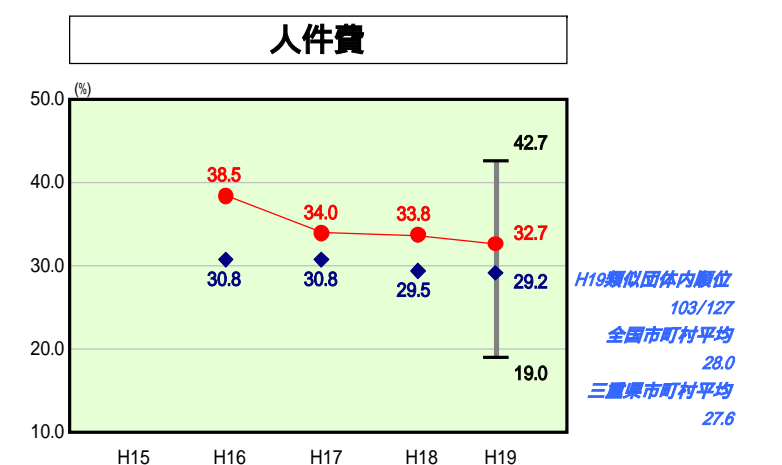
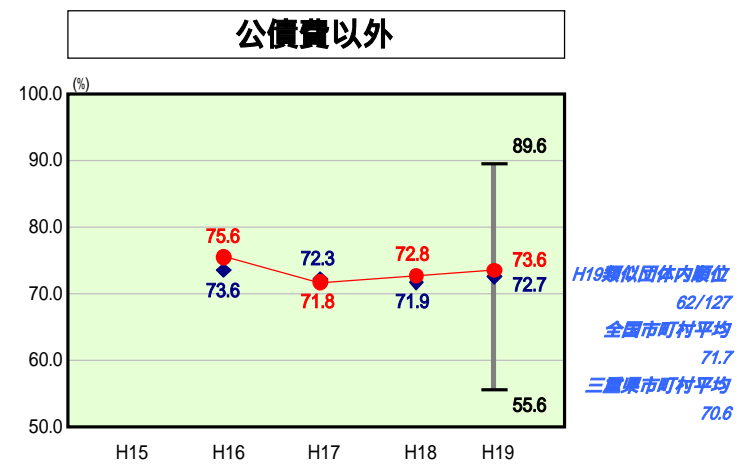
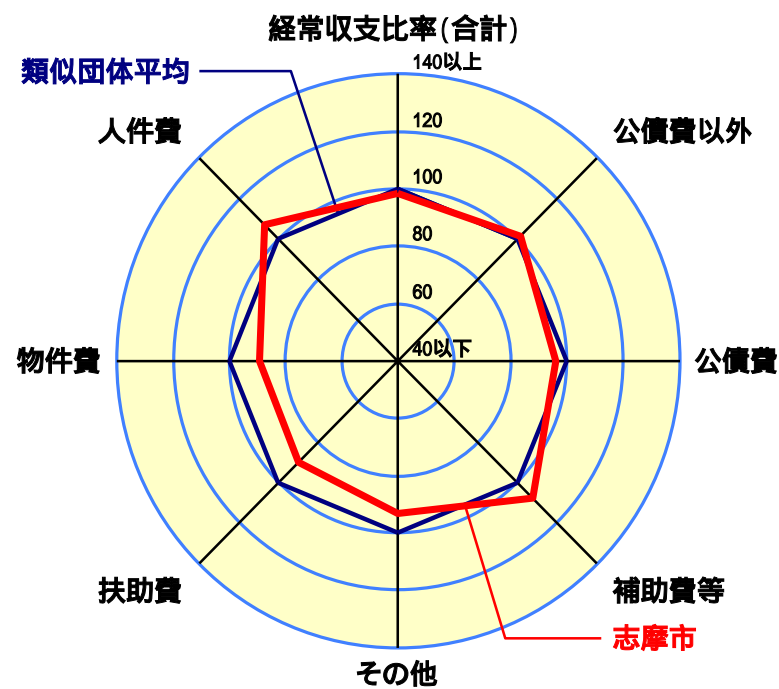


歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

経常収支比率の分析



人口	59,367人(H20.3.31現在)
面積	179.70 km ²
歳入総額	24,203,020千円
歳出総額	23,840,881千円
実質収支	339,846千円



- 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

経常収支比率の分析: 経常収支比率は、平成18年度に対し1.3%増の92.7%と上昇している。類似団体と比較すると人件費と補助費等が上回っているものの、人件費については平成18年3月に策定した志摩市定員適正化計画に基づき計画的に人員削減を図っているため、年々減少傾向にある。補助費等については一部事務組合等に対する負担金の占める割合が多く、今後広域連合によるごみ処理施設建設事業に対する負担金の増が懸念される。

人件費及び人件費に準ずる費用の分析: 類似団体と比較すると人口1人当たり決算額が類似団体平均82,877円に対し、116,868円と33,991円多い。特に臨時職員等の賃金や一部事務組合負担金に占める人件費は、類似団体と比較すると多くなっている。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析: 前年度は類似団体と比較すると低かったが、人口1人当たり決算額が類似団体平均27,845円に対し、28,911円と1,066円多くなった。これは債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるもの(国立公園施設建設譲渡事業費償還金)として計上した額が増えたことによる。

普通建設事業の分析: 平成19年度決算において類似団体と比較すると人口1人当たり決算額が類似団体平均48,408円に対し55,958円と7,550円多い。これは新庁舎建設など大規模事業の実施によるものである。